

ウィリアム・ブレイク

1 煙突掃除の男の子

母さんが死んじゃった時 ぼくは小っちゃくて
父さんは ぼくを売っちゃったんだ まだ舌たらずで
「えんとつしょーじ えんとつしょーじ」としか言えなかったのに
ぼくは煙突をそうじして すすの中で眠るんだ

トム・デーカーっていう小っちゃな子がいて 5
子羊の背中みたいなくるくるした髪を 刈られて泣いたんだ
だからぼく言ったよ「元気だせよトム 心配ないって
そのつるつるの頭の方が きらきらの髪がすすだらけにならなくていいよ」

そしたらトムは泣きやんで その日の夜
夢の中ですごいもの見たんだって 10
たくさんの煙突掃除たち ディックにジョーにネッドにジャック
みんな黒い棺ひつぎに閉じ込められてたんだ

きらきら光る鍵を持った天使さまが現れて
棺ひつぎを開けて みんなを自由にしてくれたんだって
みんなで緑の野原へかけてって 飛びはねたり笑ったり 15
川で体を洗って 陽を浴びてぴかぴかになったんだって

みんな裸んぼになって 真っ白になって 掃除袋も放り投げ
雲に乗ったり 風の中で遊んだりしたんだって
天使さまがトムに言ったんだ いい子にしてたら
神さまをお前のお父さんにしてあげよう 喜びでいっぱいにしてあげよう 20

そこでトムは目が覚めたんだ ぼくたちは暗い中 起き出して
掃除袋とブラシを持って 煙突掃除へ向かったよ
寒い朝だったけど トムは幸せであたたかな気持ちだった
みんな煙突をしっかりと掃除すれば もう何も怖がらなくていいんだって

(伊藤真紀訳)